NO.4

第7回モンゴル学術交流会

研究発表と講演

1）ホビスヘルト（千葉大学大学院博士後期過程）
「集団的土地所有権の法的性質
—内モンゴルにおける土地請負経営権の法的性質について—」

2）包聯群（東京大学大学院博士後期過程）
「黒龍江省のドゥルベト・モンゴルにおける言語の実態」

3）包嘉席（東京大学生産技術研究所研究員）
「チベット仏教都市から中継貿易都市への変容
—18世紀の内モンゴル・ファホトにおける空間構造の形成過程—」

4）オヨーンビリグ（内モンゴル大学教授、日本学術振興会外国人特別研究員）
「17世紀のチャハル・オルスの放地について」

5）呉人恵明（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・助教授）
「福北のトナカイ遊牧民のことばを追って」

6）チョクト（(株)理工協産・主任研究員）
「ラクダ飼いと科学者の間」

特別講演

中見立夫（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授）
「内モンゴル史への視点」

江口修